

令和4年3月14日

利用登録団体代表者
団体・個人賛助会員 各位

特定非営利活動法人
鎌倉市市民活動センター運営会議
理事長 石川 勝己

令和4年度 賛助会員会費（任意）のご協力をお願い

日頃は、私ども鎌倉市市民活動センター運営会議をご支援いただき、心より感謝を申し上げます。

ご存じのとおり、「鎌倉市市民活動センター」の運営には当法人のみならず多くの団体・個人の方々が携わり、その充実に向けて知恵を出し、汗を流しています。これらの活動は団体・個人の皆様方からのお気持ちである賛助会費によっても支えられています。

つきましては、この点をご理解いただき令和4年度の賛助会費の納入のご検討をお願い申しあげる次第です。

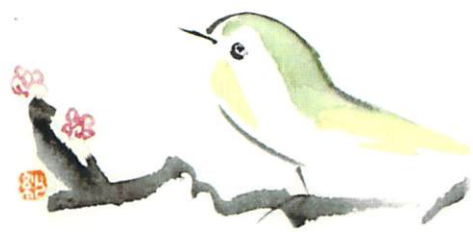
納入に際しては直接、鎌倉か大船のセンターへお持ちいただくか、下記の口座にお振込みいただければ幸いです。

なお、既に納入いただいている場合には、失礼をお許しください。

記

1. 年会費
団体賛助会費 3,000円（1口 1,000円 3口以上）
個人賛助会費 2,000円（1口 1,000円 2口以上）
（会計年度 令和4年4月1日～令和5年3月31日）
2. 郵便振込
口座番号 00280-4-36386
加入者名 「鎌倉NPOセンター運営会議」
3. お問い合わせ
NPOセンター鎌倉
電話：0467-60-4555
FAX：0467-61-3928
E-mail：npo@chive.ocn.ne.jp

鎌倉 パートナーズ



鎌倉市市民活動センター広報紙 第102号 令和4年3月発行（季刊）
発行／編集：鎌倉市市民活動センター <https://npo-kamakura.com/>

こんな市民活動しています！

リレートーク No.21



NPO法人 鎌倉ガイド協会



リレートークとは：鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思ひます。是非、お知らせください。

鎌倉ガイド協会は、鎌倉を訪ねて下さる方々に史跡・文化財等の案内、解説をしています。その数、毎年2万人以上（コロナ以前）。

この案内で大変役にたっているのが、大正～昭和初期に建てられた約80基の石碑で、鎌倉の歴史を読み解く案内碑になっています。

しかし残念なことに、文字が消えかかり、汚れて読みにくいものもありました。そこで、今年30周年を迎えるガイド協会では、記念事業の一環として、石碑を水洗いし、文字部分をペイントする作業を行いました。（2021年7月～2022年3月）

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関連して、見やすくなった石碑を巡るコースをご紹介しますので、ぜひ、ご散策ください。（高低差ややあり・約3km）

【鎌倉幕府所在地と義時大蔵亭】

スタート（鶴岡八幡宮二の鳥居横）①段葛→②宇都宮辻幕府旧跡→③若宮大路幕府旧跡→④畠山重忠邸址→⑤大倉幕府旧跡→⑥法華堂跡（頼朝墓階段下）→⑦東御門→⑧荏柄天神→⑨関取場跡→⑩筋替橋→⑪北条執権邸旧跡（宝戒寺）横大路を西に進んで、ゴール：若宮大路（八幡宮三の鳥居前）この後、小町通入口⑫鐵の井 または、宝戒寺から小町大路を南へ。

* ⑥→北条義時法華堂跡・鳥居くぐり階段上り大江広元墓階段下り
清泉小学校校庭横→⑦

* ⑧→荏柄天神参道南下、岐れ路から鎌倉宮へのバス道を横切り、次を右に細い“二階堂大路”に入る。この付近は“義時大蔵亭”推定地→⑨

3月オープンの鶴岡八幡宮内大河ドラマ館では、土日祝日、午前後予約なしで、2時間程度の定期ガイドを行います。

お友達やご家族で、ガイドとともに鎌倉の街を歩くと新しい発見があり、お客様へのおもてなしにもなります。御成町事務所には、日直が待機していますので、お気軽にご相談ください。

TEL:0467-24-6548

ご存知ですか？

地域課題に取り組む市民活動団体を応援

つながる鎌倉エール事業 が始まります！

市役所の担当課「地域のつながり課」へお話を聞いてきました。



■ 「つながる鎌倉エール事業」について教えてください。

鎌倉市が市民活動を応援するため、また協働を更に進めていくために実施する事業のことで、「スタートアップ」と「協働」の2つのコースがあります。



小池さん

■ 「協働コース」と「スタートアップコース」の違いはなんですか？



加藤さん

協働コースは、いままでの相互提案協働事業の団体提案の充実を図り、市の事業負担額を拡充したもので、市民活動団体等と行政の協働による地域や社会課題の解決に向けた公益的な事業が対象です。すでに継続して活動している団体向けのコースです。一方、スタートアップコースは、今回新設されたもので、これから何かを始めたい団体へ「はじめの一歩」の後押しをするためのコースです。

スタートアップコース設立の目的

- ・地域の担い手の発掘や育成
- ・補助金申請などの経験をふむことで団体運営の実施能力の向上
- ・より多くの市民活動への参加を促すこと

■ では、新設されるという「スタートアップコース」について教えてください。

市民活動をやってみたい、地域のために活動したい、でも準備が整わない、資金が足りない、進め方が分からない、という方を市が支援する事業です。具体的には、鎌倉市からの補助金の交付だけではなく、NPOセンターでもサポートを行います。

■ どのような団体が対象になりますか？

- 1.市民活動センターに登録している、または申請時に登録する。
- 2.活動拠点が鎌倉市内にある市民活動団体等。
- 3.3人以上の市民（在住・在勤・在学含む）で構成された団体である。
- 4.設立後3年以内の団体である。
- 5.規約があること（事業実施までに用意できれば可）

市民が主役の街づくりを フォローアップ



加藤さん 小池さん
お話ありがとうございました。

■ スタートアップコースの助成金はどのくらいの額ですか？

1件につき10万円が上限で、6月の審査会で選考が行われ、補助事業が決定されます。



NPOセンター

4月に説明会、相談会を実施、6月に書類審査、公開プレゼンテーション、結果発表となります。NPOセンターでは企画書作成講座や個別相談会を開催してサポート予定です。**始めるなら、今！ですね！**

詳細は鎌倉市ホームページに掲載予定です。皆様のご応募をお待ちしております！！

懇話会レポート

去る1月23日（日）、「防災」をテーマに利用登録団体懇話会を開催しました。まず、日頃から災害に備えて取り組んでいる3団体の代表のお話をうかがったあと、自助・共助・公助でできること、心がけや提案などが話し合われました。自治会・町内会・社会福祉協議会などからの参加もあり、懇話会が目指す「団体相互の交流の場」となりました。直接かかわってきた現場ならではの声や、興味深い話が出て、目からウロコの会でした。

学生団体 玄海 橋本 玄（はるか）さん

自治会の方々と一緒に地域を歩いて回り、危険箇所をチェックし映像化しています。一方で防災を気軽に身近なものに感じられるよう、ゲーム感覚で楽しく学ぶ、アウトドアのイメージでストレスなく防災につなげることを目指しています。学生ならではの視点で、感じて学んで提案していきたいと思っています。



かまくら認知症ネットワーク

さくらコミュニティーケアサービス 稲田 秀樹さん

防災体制、社内体制、地域連携を柱に考えています。物資の備蓄、地域の方も含めたヘルスケア、社内では、複数で情報共有。社外では、普段から地域との連携を作っています。LINEを使って住民グループがネットワークでつながり、身近な情報をリアルタイムで共有しています。



関谷小ブロック防災協議会 江上 健さん

自治会では継続的な防災活動が難しいため、別に有志で防災グループを作りました。自治会会員からの認知を得て予算も確保。その後、近隣の自治会とも連携して、コロナ禍でイベントが開催できない中、玉縄地区の防災マップ作り避難所マニュアル作りなどに取り組んでいます。



参加者からの感想・提案

- 「防災教育は中学生から」の話が印象的だった。小学生ではまだ危機感が薄い。高校生以上は地域にいない可能性がある。高齢者は知識や経験はあるけど体力面では負荷が大きい。そんな時、地域にいる中学生の行動がとても重要。同時に、今後学校での訓練や教育が現実的になることも期待する。
- 町内会で防災訓練をやっても参加者は高齢者ばかり。子供たちに遊び心を持って参加してもらうことが必要ではないか。運動会の障害物競争にバケツリレーなどを入れたり、防災グッズを配ったり、キャンプをする感覚でテントを張ったり、自炊したり、シェルターをつくったり、楽しみながら体験することが大事。
- 市民活動団体の中でそれぞれの活動分野を活かせることはたくさんあると思う。被災時の子供たち、高齢者のケア、ペット、通訳、地図、通信・・・これらがうまくつながるといい。
- 避難所で一番困るのがトイレ。体育館は和式が多く問題が多い。避難所が開設されても収容人数に限界がある。可能な限り家での待機を考え、非常用トイレ、ビニール袋などは用意したい。
- 近所に誰が住んでいるか、どんな状態なのかを知っておくため、普段からコミュニケーションをとっておくことが大切。
- 活動領域や世代が全く異なった3団体の方々と、会場に来られた自治会の方々と質疑応答がとても現実的で参考になった。まさに多様な視点からの懇話会だった。



新規登録団体のご紹介

子育てシェアネットワークin鎌倉

頼り合いながら、子育てしやすい地域まちづくりを目指しています。

子育てをされていて急に困った時、アプリから知り合い同士で助言をしたりされたりして助け合う、そんな子育てしやすい地域社会を目指しています。

小袋谷町内会

町内の絆を深めるまちづくりを実践しています。

町内運動会、夏まつり、どんど焼き

(左義長) 町内会だより発行、防犯パトロールなど、子供からお年寄りまで町内の方々が安心してつながれるように、様々な活動に取り組んでいます。

<http://kobukuroya.jp>

レインボーサークルかまくら

行政や学校と連携しながら、子どもたちを見守りサポートする大人の絆をつくることを目的として活動しています。学校現場や子育て支援など、実際活躍している人たちのつながりを得ることができます。明星大学教授星山先生の、発達支援講座を受講した人を対象に、学んだことをより活かせるような活動をしています。<http://www.facebook.com/rainbowchildren0467/>

防災ボランティアドリームチーム集結

東日本大震災をきっかけに、消防のレスキュー隊OBを中心に広がった全国初の消防OBによるボランティアグループです。被災地に出向き、高所、冠水箇所など民間ボランティアが入りにくい場所で、土砂、がれき撤去などのボランティア活動を行います。レスキュー隊として過酷な現場活動を通して培った経験、知識を活かして活動しています。

地域の居場所「さっちゃんち」

縁側でホッと温まりませんか。火・木曜日の9時～17時まで、運営協力金200円/4時間で自由にご利用いただけます。随時開催している裁縫の会のほか、定期開催のお子さんの遊び場、不登校の親の会、気功、編み物の会などにもご参加もできます。第1日曜日午前は英会話、ボードゲーム、第3土曜日午前は朝市も開催中。0歳から高齢世代まで、参加者、出店者募集中！見学無料。



事務局だより

ロッカー利用団体更新、新規募集のご案内

印刷用紙の収納にいかがですか？(年単位)
スチール製 (A4用紙対応 鍵付き) 1,000円/年
木製 (A3・A4用紙対応) 500円/年

編集後記：

春到来！ コロナ禍3年目の春！
まだまだマスク生活が続きそうですが
何か新しいことを始めませんか？
ボランティア/スポーツ/音楽？
(H.F)



活動報告のお願い

長引くコロナ禍で、自粛や活動形態の変化をされた団体も多いことかと思えます。これからの鎌倉のまちづくりを担う市民活動・協働の推進のために、皆さまの活動状況を教えてください！「令和3年度活動報告」のご準備をお願いいたします。

鎌倉エフエム「鎌倉シーサイドステーション」

毎月第3月曜、10:20～登録団体が月替わりで生出演し、イベント告知や活動内容の広報をしています。出演を希望する団体はセンターまでお知らせください。

NPOセンター鎌倉
〒248-0012
鎌倉市御成町18-10
TEL：0467-60-4555
FAX：0467-61-3928
E-mail：npo@chive.ocn.ne.jp

NPOセンター大船
〒247-0061
鎌倉市台1-2-25
(たまなわ交流センター1階)
TEL/FAX：0467-42-0345
E-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp

利用登録団体数：330団体
令和4年3月10日現在

※ 利用登録団体の登録内容
(連絡先・代表者・活動内容等)
に変更があった場合は、速やかに
お知らせください。

＼ 私たちは社会貢献に取り組む活動をサポートしています ／

議 会 運 営 会 議 運 営 た よ り

3月/2022年/NO.49

発行■特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議（認定法人）[鎌倉市市民活動センター指定管理者]
TEL0467-60-4555 FAX0467-61-3928 ■E-mail:npo@chive.ocn.ne.jp ■http://npo-kama.sakura.ne.jp/uk/

特集…「防災活動の中間支援へ」

地域防災と市民活動

一月から二月にかけて、地域の防災をテーマにした2つのイベントを開催いたしました。一つは登録団体を対象とした「利用登録団体懇話会」、もう一つは神奈川県と共催した「企業・NPO・大学・市民のためのパートナーシップミーティングin鎌倉」です。

地域の防災は、もとより地縁組織の自治会・町内会が主体となつて自助・共助に取り組む必要がありますが、現実には、会員の高齢化による担い手不足や、かつての地域の強みであった「顔の見える関係」の衰退化という問題があります。

そこで、「防災」を切り口にして、市内の団体がそれぞれの活動で培ってきた組織力・技術力を地域「防災」に活かせるのではないかと、市民活動が地域をサポートし、コミュニティを結びつける力になれるのではないかと考えたのが2つのイベントの企画意図でした。

懇話会では、高校生メンバーを中心に自治会・町内会と連携して勉強会やワークショップを行い防災意識の啓発に努めている団体や自治会・町内会の機能を代替する自主防災チームを組織して活動をはじめている団体、「自身の経営する介護施設における災害時の事業継続計画（BCP）」に関連づけて地域の自治会との連携を図ろうとしている団体の具体的な発表をしていただきました。

例えば発災前に危険個所の調査をする、緊急時の連絡体制を作っておく、防災イベントの企画を立てること、また避難所で必要となる高齢者や障がい者のケア、ペットの取り扱い、外国語の通訳、通信環境の整備など。あるいは被災地での被災状況の把握や被害情報の発信、倒木などの障害物の除去など。これらの行動に普段の市民活動の経験を活かせる場面が多々あるとあらためて気づいた次第です。

NPOセンターが中間支援組織として鎌倉の「防災」問題に取り組みにあたり、日頃から各団体の経験、技術、能力を把握し、ネットワークを構築しておき、いざという時に必要に応じたコーディネートができる準備をしておくことが肝要ではないかと考えます。

理事 西畑直樹

- 鎌倉市市民活動センター運営会議(以下、運営会議)は、市民活動団体支援を目的とするNPO中間支援組織です
- 運営会議は、鎌倉市NPOセンター(鎌倉・大船)2館の指定管理者です
- 鎌倉における市民活動の活性化と自立を支援し、共に豊かな地域社会をめざします

防災活動の中間支援へ

利用登録団体懇話会、パートナーシップミーティング in 鎌倉

を通して考える

いつ起きてもおかしくはない、と言われる災害。その話題は年が明けると動き出します。1月17日の阪神淡路大震災、3月11日の東日本大震災にちなみ、巨大な力に破壊されて殺伐とした「まち」の姿がメディアで繰り返し返されるのです。忘れたかった光景を前に、わたしたちは祈りとともに「何かしなければいけないのだろうけど」という、ざわざわと落ち着かない気持ちで過ごします。ここ数年の風水害で「あの光景」は鎌倉でもあることを知りました。でも具体的に自分が何をどこまで「準備」したらよいか見通せない、話せないことが、この不安を生んでいるような気がします。

こうした流れを背景に、わたしたち運営会議は今年度「防災」を

テーマに活動する人たちの話を伺いました。1月23日の利用登録団体懇話会では「パートナーズ」での報告にあるとおり、立場や地域を超えて行う防災活動の発表や参加者との前向きな意見交換に広がりしました。

2月19日のパートナーシップミーティング in 鎌倉は、災害への備えをテーマにZOOM開催し、40名近くの参加を得て、企業や事業者からそれぞれの発表やグループディスカッションを行いました。アウトドアライフアドバイザーの寒川さんのお話からは、アウトドア用品がそのまま防災用具として使えること、楽しみながら備えることの大切さを感じました。情報機器設置をされている田村さんからは、災害時の情報の重要

さとその敷設の大変さを学び、江ノ電の井口さんは、災害時の避難誘導のシミュレーションから、災害時避難ハンドブック作成の経緯を伺いました。これは電車に乗っている際の避難だけでなく、腰越や七里ヶ浜といったより広域の避難方法や場所を示して、土地勘のない観光客、修学旅行の学生などの安心につながっているのだそうです。

皆さんが、それぞれの仕事の特徴を活かしながらも、利潤追求だけではなく、広く市民のために防災を考え、行動をされていることが理解できて頼もしい限りでした。グループディスカッションでは県民、企業、中間支援などそれぞれの活動する様子をうかがうことができました。

「鎌倉では復興支援で素晴らしい活躍をしたグループがあるんだね」「三浦にはいろんな横断的活動がありますね」「企業や店舗は意外に備えがあつて頼りになりそう」

そんな会話のなかで、さまざまな「備え」があり、活動があり、それぞれが地域とともに生き残るために、シミュレーションを重ね、動いているのだと伝わります。けれど、せっかくの活動は「備え」が中心でふだんは見る事ができません。

「災害時にだれがどんな役割を担えるのか、わかると良いね」

「発災時に医療関係者、介護関係者、安否確認する人、支援が必要なる人、などの役割やニーズが分かるゼッケンみたいなものがあるといいね」「あらかじめ役割のある人は色分けしたピブスを配っておいで、発災直後に付けてもらったらよいのかな」

そんな提案も聞こえ、ZOOMの不安定さと戦いながらの熱の入った2時間になりました。

ここ数年の風水害の被災で鎌倉市民として「備え」「つながり」が大切であることを痛感しています。鎌倉には崖地の管理、防災シユ

ミレーション、広報活動など、防災に取り組む多様な活動Ⅱ「地域資源」があります。けれどその内容や連絡方法までは知られてはいません。

2つのミーティングを通して、いつ来てもおかしくない災害に備えるためにもNPOセンターとして今後、様々な取り組みを紹介し、町内会や学校といった様々な主体とつなぎ、広く市民に知ってもらいネットワークを構築していきたいと考えています。現在、約350団体が登録し、延べ7万人が活動に参加する「鎌倉市の市民活動」。だからこそできるセンターとしての防災活動、中間支援があると思えます。それが皆様の「備え」のお手伝いになり、暮らしの「安心」につながれば幸いです。

(副理事長 入江麻理子)

かまくらエール基金 について

鎌倉市役所では令和3年4月にかまくらエール基金（市民活動推進基金）を発足させました
あらためてその趣旨等を所管課の地域のつながり課にご寄稿いただきました

● かまくらエール基金（市民活動推進基金）とは、

市民活動の活性化に必要な環境整備にあたり、市民活動団体等への財政的支援や協働の充実などに要する経費の財源に充てるために、令和3年4月に設置した基金です。

基金の愛称である「かまくらエール基金」は、市民等の皆様に親しみのある基金となるよう、基金の愛称を募集し、20件の応募の中から、つながる鎌倉条例で規定する附属機関である「鎌倉市市民活動推進委員会」での選考を経て決定しました。

市民活動を応援したいという思いが込められたこの寄附は、様々な活動主体がともにつながり、鎌倉の市民活動をさらに活性化させ、次世代に引き継いでいくため、様々な市民活動支援の施策に活かしていきます。

● 基金の使い道

基金の活用については、協働事業の充実や、市民活動団体等への財政的支援、活動の場の確保などに活用していくことを考えています。

令和4年度から実施する「つながる鎌倉エール事業[※]」は、市の一般財源で制度の運用を始めますが、基金活用先の一つとして、令和5年度から制度の充実に基金を活用していく予定です。※詳しい事業内容は鎌倉パートナーズをご覧ください。

● 寄附の方法

市内・市外の在住に関わらずふるさと寄附金の制度を活用できるほか、地域のつながり窓口で寄附いただくこともできます。なお、令和3年12月末までに2,488,000円のご寄附をいただいております。

● 寄附のお願い

様々な人がともにつながり、鎌倉の盛んな市民活動を次世代につなげ、魅力と活力にあふれる地域社会の実現を目指していきますので、ご協力をお願いします。

地域のつながり課

役員選挙規定を変更しました

去る3月11日の理事会で役員選挙規定の変更を議決しました。変更内容は次の通りです。

(立候補等)

- 第3条 選挙管理委員会は、届け出期間を定め正会員の中から理事および監事の立候補者を募る。
- 立候補者は所定の用紙に必要な事項を記入し、指定された立候補受付日に直接選挙管理委員会に届け出る。
 - 必要事項とは、①市民活動の経験②所信③推薦者がいる場合は記入する である。



- 必要事項とは、①市民活動の経験②所信③推薦人(3人以上。4月1日現在在籍1年以上の正会員に限る。)

定款変更を提案する予定です

3月11日お理事会において、来る5月28日に予定されている第23回定時総会に、運営会議定款の一部変更を提案することとしました。変更の内容は次の2点です。

1. 団体正会員の廃止

第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって法上の社員とする。

- 正会員 市民活動に関心と理解があり、この法人の目的に賛同し協働するために入会した個人及び団体



- 正会員 市民活動に関心と理解があり、この法人の目的に賛同し協働するために入会した個人

2. オンライン会議活用の総会

「第4章総会」「第23条(開催)」の第3項として次を追加する。

「3 通常総会・臨時総会ともに、対面による総会の開催を困難もしくは不適切とさせる社会的環境が存在すると認められる場合には、理事会の決定により書面評決による総会とすることができる。書面評決による総会を開催する場合に、理事会はオンラインによる総会議事説明会を開催することができる。」

会員募集

運営会議は会員によって支えられています。入会随時です。

〈会費〉

正会員

個人正会員 2,000円

団体正会員 3,000円

賛助会員

個人 1,000円、2口以上

団体 1,000円、3口以上

正会員数 87名

団体正会員数 13団体

賛助会員数 16名

賛助団体数 182団体

(3月10日現在)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様からご寄附をいただきました

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と同社の職員様で構成されるMS&AD ゆにぞんスマイルクラブ様は、鎌倉市で地域活動を奨励している団体を対象に寄附金の授与を行っておられます。

このほど鎌倉市市民活動センター運営会議がその対象に選ばれました。2月21日湘南支店長成田英司様にご来訪くださり、35万円の贈呈式が行われました。

昨年に続いてのご寄附であり、ありがたく、かつ身の引き締まる思いがいたします。市民活動の活性化のために有効に生かしていきましょう。

鎌倉市市民活動センター運営会議は「認定NPO法人」格を取得しています

“あなたのご寄附が、鎌倉の街を元気にします”

ご寄附いただいた場合、「寄附金控除」制度が適用され、確定申告で税金の還付が受けられます

お問い合わせはNPOセンターまで！！